

Shelfit

組立説明書

必要な工具

プラスドライバー

ゴムハンマー  
プラスチックハンマー

※ハンマーを使用する際は、部材を直接たたいて破損しないように、布や雑誌で部材を保護してください。

耐 荷 重

天板：8kg  
棚板：6kg

以下の注意を守り、手順どおりに組み立ててください。組み立て後も、本書を保管してください。

⚠ 注意

- 本書の指示通り、必ず接着剤を使用してください。使用しないと、家具の強度は低下します。
- 天災等の不可抗力、お客様の組み立て作業上の不備、修理・改造を原因とする故障や破損は保証対象外です。
- 電動工具を使用するときは、低いトルク・回転数でゆっくりと締め、ビスの締めすぎに注意してください。締めすぎると、ビスが破損することがあります。
- インパクトドライバーは使用しないでください。使用すると、ビスや部材が破損することがあります。
- 床や部材が傷つかないように、布などを敷いた上で作業をしてください。

製造元

大洋株式会社 〒427-0017 静岡県島田市南2丁目20番1号 <https://www.taiyo-kk.co.jp>  
TEL：0120-187018 FAX：0547-35-3801 受付時間 9:00～17:00 土日祝日を除く  
お問い合わせフォーム：<https://www.taiyo-kk.co.jp/contact/kojin/>

作業の前に

構造を確認しましょう

主な部材には番号が印刷されています。下のイラストで構造を理解し、部材と付属部品を確認してから組み立ててください。

組み立てる前に  
部材・部品の確認！

●種類・数量（説明書と照合）

●外観（破損・キズ・汚れなど）

万一問題があった場合は、組み立てる前に、お買い求めの

販売店 インターネットショップ・サービス窓口 など

へお問い合わせください。

付属部品

組立ビス ×12

木製ジョイント ×4

接着剤 ×1

ソケット ×4

棚受金具 ×4

ソケットは、キャスターと一緒にビニール袋に入っています。

ヒンジ：扉用蝶番 ×2

ヒンジ：本体用ベース ×2

蝶番用ビス ×4

ベース用ビス ×4

クッション ×1

手掛け ×1

手掛け用ビス ×2

キャスター（ストッパー付） ×2

キャスター ×2

ゴムコーダー ×1

ビスシール ○×12

手掛け用ビスは、手掛けと一緒に梱包されています。

扉の開き方向について

この組立説明書のイラストは、扉を「左開き」として表記しております。側板（左右）のイラストは、穴の数が「右開き」の場合と異なりますが、同様に作業してください。

イラストの寸法について

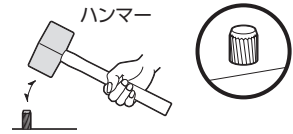
この組立説明書のイラストは、オーダー幅35cmで表記しております。異なるオーダー幅の場合、部材の幅、縦横の比率など異なりますが、同様に作業してください。

STEP 1

⑤幕板・⑥幕板（加工有り）に木製ジョイントを差し込む

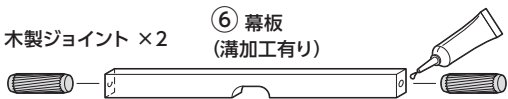
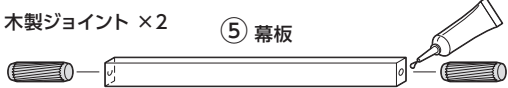
木製ジョイントを差し込む

木製ジョイントは、長さの3分の2程度が入るように、ハンマーで軽く打ち込んでください。



⚠ 注意

部材にある木製ジョイントの取付穴（4か所）に必ず接着剤を流し入れてください。



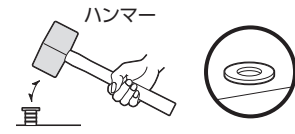
STEP 2

④地板にソケットを取り付ける

ソケットは、キャスターと一緒にビニール袋に入っています。

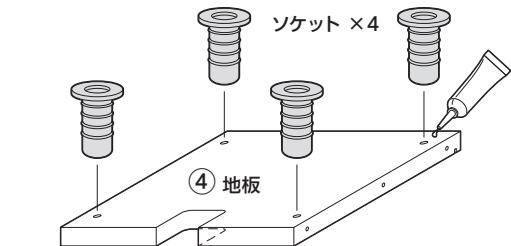
ソケットを差し込む

ソケットは、しっかりと入るよう、ハンマーで打ち込んでください。



⚠ 注意

地板にあるソケットの取付穴（4か所）に必ず接着剤を流し入れてください。

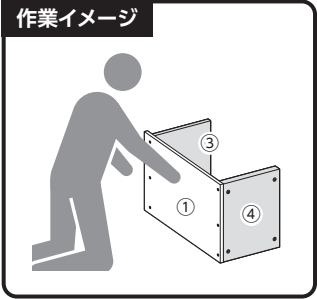
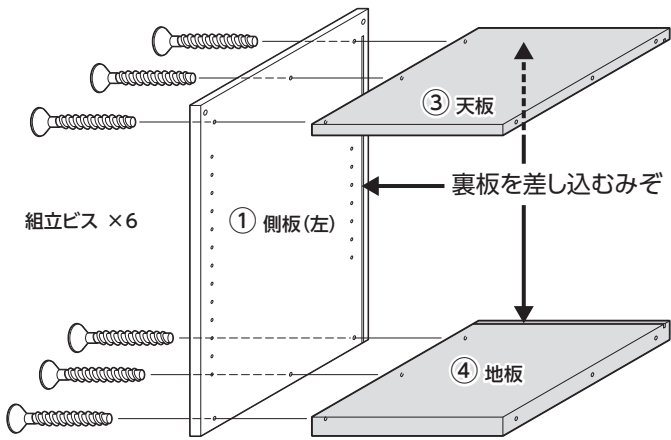


STEP 3

①側板（左）に③天板・④地板を取り付ける

側板（左）に天板・地板をビス止めする

各3つのビスを均等に締めていくと安定します。



ネジ穴が見える位置からビス止めてね!

裏面へ▶

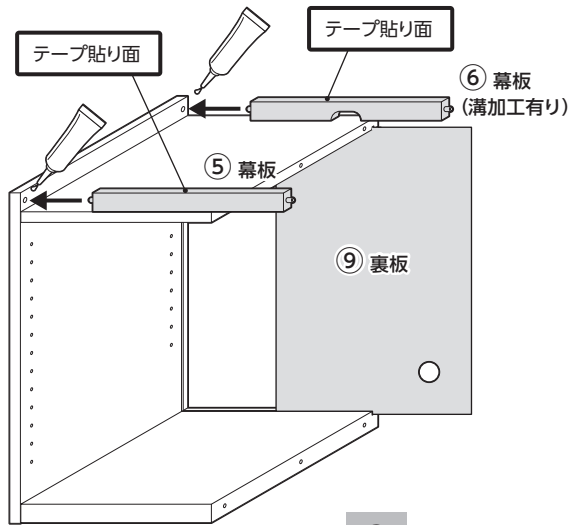
## STEP 4 ⑤幕板・⑥幕板(加工有り)・⑨裏板を取り付ける

### 1 幕板を接着剤を入れて取り付ける

部材の向きを間違えないように注意してください。  
 <テープ貼りされている面>  
 幕板:上面

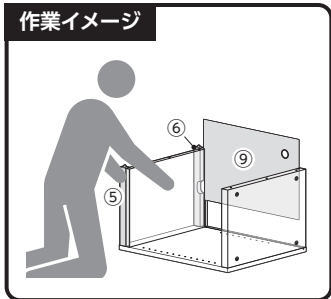
#### ⚠ 注意

側板(左)にある幕板の取付穴(2か所)に必ず接着剤を流し入れてください。



### 2 裏板を差し込む

裏板を側板(左)・天板・地板のみぞにはまるように差し込みます。配線穴は裏板を回転させてお好みの位置にできます。



部材の向きに  
注意してね!



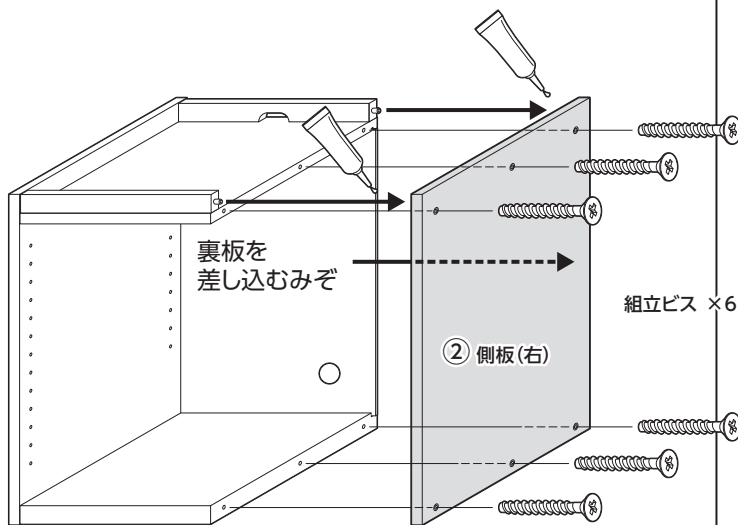
## STEP 5 ②側板(右)を取り付ける

### 側板(右)をビス止める

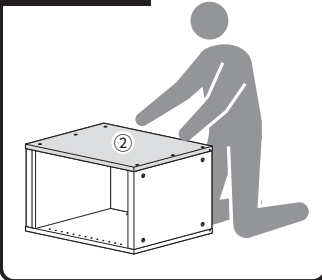
差し込んである裏板が側板(右)のみぞにはまるように取り付けます。各3つのビスを均等に締めていくと安定します。

#### ⚠ 注意

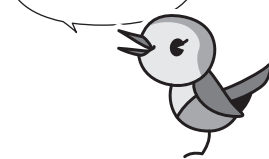
側板(右)にある幕板の取付穴(2か所)に必ず接着剤を流し入れてください。



#### 作業イメージ



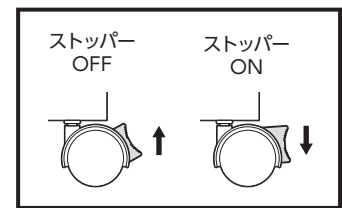
みぞに裏板を  
合わせてね!



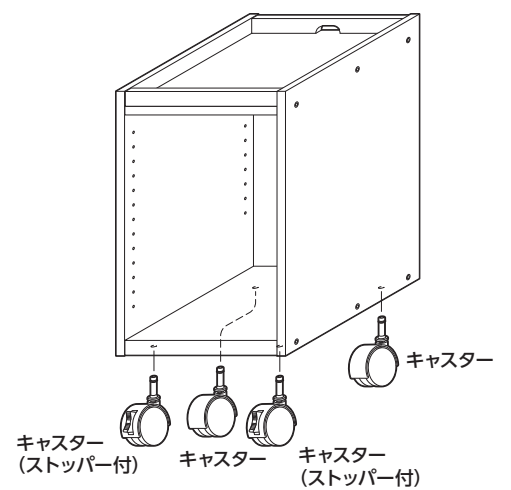
## STEP 6 キャスターを取り付ける

### ソケットにキャスターを取り付ける

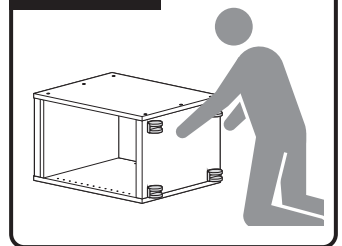
手前側がストッパー付になります。



しっかり  
差し込んでね!



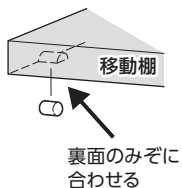
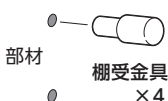
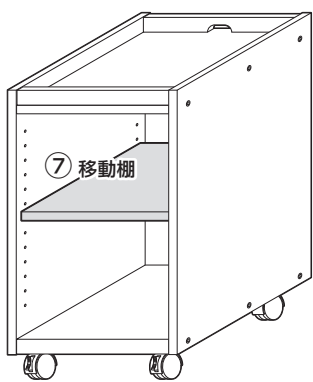
#### 作業イメージ



## STEP 7 ⑦移動棚を取り付ける

### 移動棚を取り付ける

側板(左右)に棚受金具を4か所、お好みの高さに取り付け、移動棚を載せます。



#### ⚠ 注意

移動棚脱落防止のため必ず移動棚のみぞに棚受金具を合わせてください。

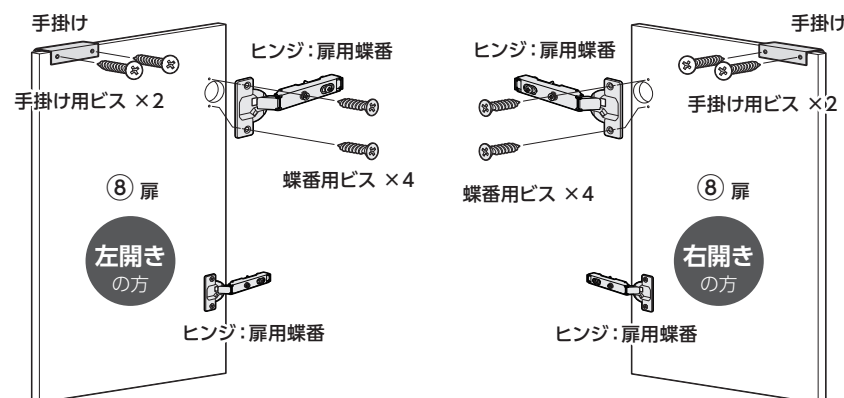


収納物を想定して、  
棚の取り付け位置を  
決めるといいよ!

## STEP 8 ⑧扉に ヒンジ:扉用蝶番・手掛けを 取り付ける

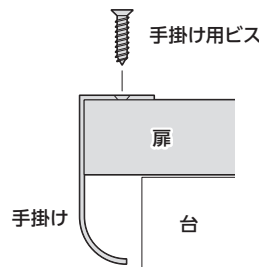
### 1 蝶番をビス止める

ビスを間違えないように注意してください。



### 2 手掛けをビス止める

手掛け用ビスは、上から押しながら、取り付けてください。



ビスを間違えない  
ようにね!



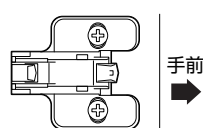
### 扉の開き方向について

ご購入時に選択された扉の開き方向で組み立てを行ってください。

## STEP 9 ヒンジ:本体用ベースを取り付ける

#### ⚠ 注意

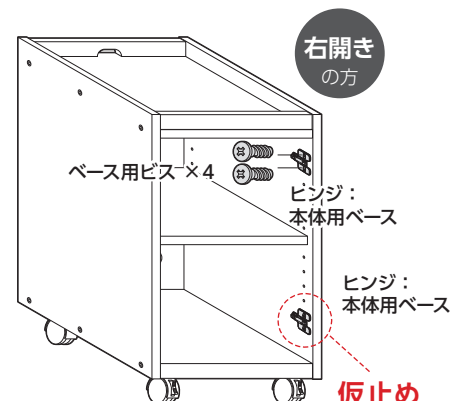
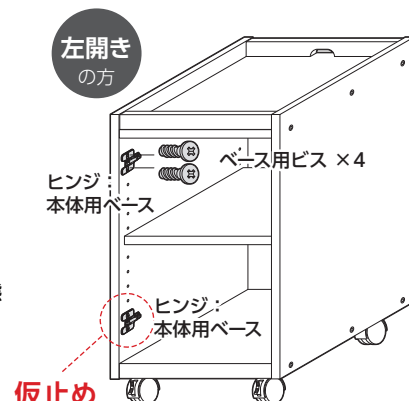
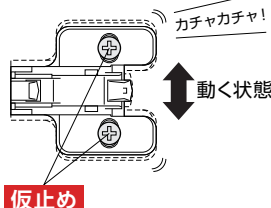
ベースの向きを間違えないように注意してください。



#### ⚠ 注意

扉を取り付けた際に、  
一番上以外のベースは、**仮止め**に  
してください。

完全に締め付けると、蝶番がベースに  
きちんと、取り付けられない場合が  
ございます。



扉の開き方向を  
確認してね!



### 扉の開き方向について

ご購入時に選択された扉の開き方向で組み立てを行ってください。

STEP  
10

## 扉を取り付ける

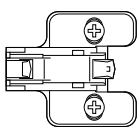
組立てる前に、この説明書をよくお読みください。

- ・天災等の不可抗力やお客様のお取り扱いの不注意、不当な修理・改造による故障・破損等は保証致しかねます。
- ・組立の際には、商品や床・既存の家具等に傷がつく恐れがありますので充分ご注意ください。
- ・この説明書は組立てた後もお問い合わせなどに使用致しますので、大切に保管してください。
- ・スライド蝶番共通の説明書になっていておりますので、イラストなどが実際の商品と多少異なる場合がございます。

扉の位置を調整  
できたりするよ!

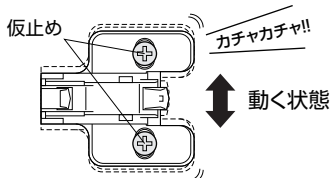
## 事前確認

- ベースの向きが間違っていないか確認してください。



手前

- 扉を取り付けた際に、下にくるベースは仮止めしておいてください。完全に締め付けた状態で扉を取り付けますと、蝶番がベースにきちんと、取り付けられない場合がございます。蝶番がきちんと装着できましたら、完全に締め付けてください。※ベースが3つ以上の扉は、一番上以外のベース全てを仮止めにしてください。



上

- 上の蝶番から取り付けてください。

下

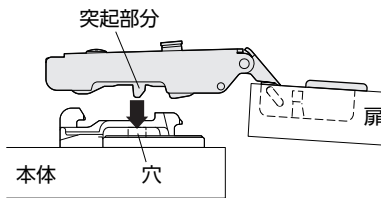
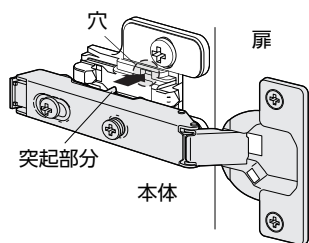
扉

## ⚠ 注意

扉を取り付けの際は、十分に注意してください。扉を落とされますと、破損やケガの原因になり大変危険です。

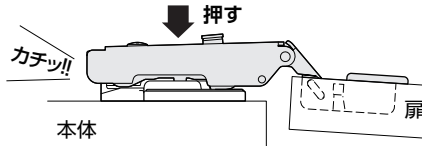
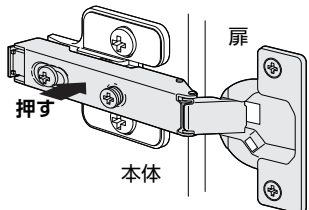
## 取り付け手順

- 1 ベースの穴に蝶番の突起部分を差し込みます。



## 取り付け手順

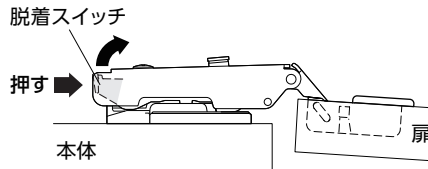
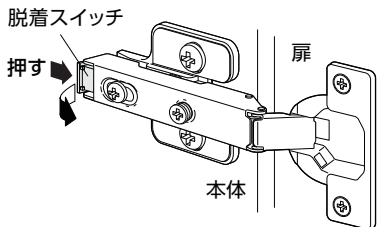
- 2 カチッ!となるまで蝶番を押して取り付けます。取り付け後は、蝶番がベースにきちんと装着されているか、扉を2、3度開閉して確認してください。



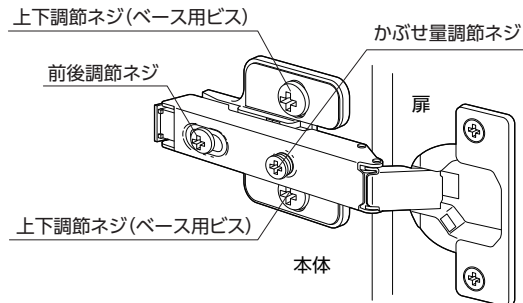
※蝶番がベースにきちんと装着されましたら、ベース用ビスを完全に締め付けてください。

## 取り外し方法

蝶番後端の黒い脱着スイッチを押し込みながら、本体後端部を持ち上げると外れます。



## 扉の調整方法

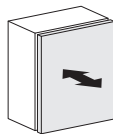


## ■ご注意

商品が水平ではない場所に設置されている場合、扉の調整を行っても、ゆがみなどが直らない場合がございます。水平器・家の傾き計測アプリなどで確認をおすすめします。ベースの各調整ネジは、必ず手回しドライバーにて、調整ネジの調整範囲内での微調整を行なってください。エアー・電動・充電ドライバーなどでの調整は、ネジ部に過大なトルクが加わり、ネジ山が破損し、機能不良となることがありますのでおやめください。

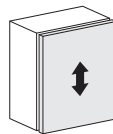


## 前後調節

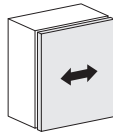


前後調節ネジを緩めて、前後にスライドさせて調整します。適当な位置になりましたら、最後に完全に締め付けます。

## 上下調節

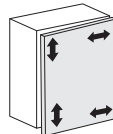


上下調節ネジを緩めて、適当な位置になりましたら、最後に完全に締め付けます。

かぶせ量調節  
(左右調節)

かぶせ量調節ネジを左右に回して調整します。

## 傾き調節



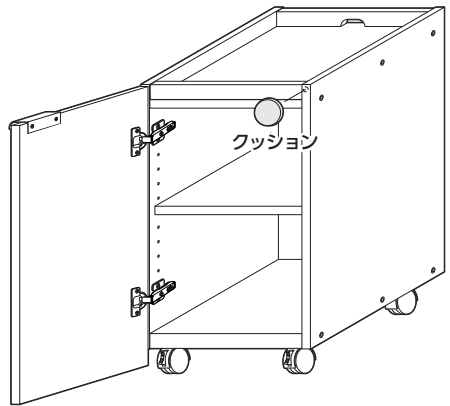
上下調節ネジを緩めて、かぶせ量調節ネジを左右に回して調整します。適当な位置になりましたら、最後に上下調節ネジを完全に締め付けます。

STEP  
11

## クッションを取り付ける

## クッション取り付け位置

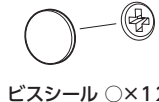
クッションは台紙からはがして、扉を閉めた際に、扉がクッションにあたるように取り付けます。

扉があたるところに  
貼ってね!STEP  
12

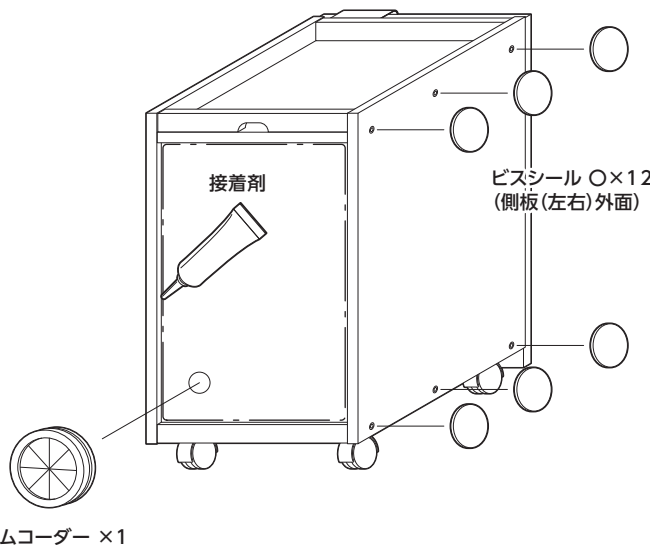
## 仕上げる

## 1 ビスシールを貼る

側板の外面にあるビス穴(12か所)をビスシールで隠します。



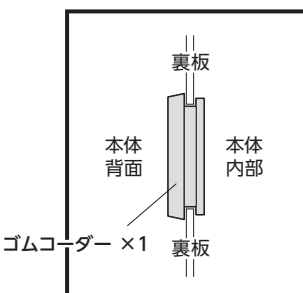
ビスシール ○×12



ゴムコーダー ×1

## 2 ゴムコーダーを取り付ける

裏板の配線穴にゴムコーダーを取り付けます。向きに注意してください。



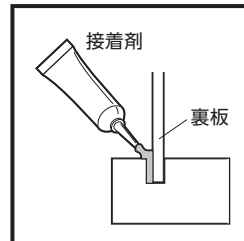
ゴムコーダー ×1

## 3 接着剤で補強する

強度を増すため、裏板とみぞのすきまに接着剤を流し入れます。

## ⚠ 注意

必ず接着剤を使用してください。使用しないと、設計上の強度は得られないため、故障や破損は保証対象外となります。

組み立ては完了!  
お疲れ様でした!